

縄文野焼きとは

万物の生命が豊穡でありますようにと祈りを込めた縄文土器は生命と魂のデザインで作られます。
この縄文スピリットと生命と魂の造形美が21世紀の新しい芸術表現世界を開きます。
縄文野焼き祭りは、炎の子宮に包まれた作品に命が宿る瞬間立ち会える縄文体験の場です。

第31回

秋の縄文野焼き祭り

縄文の鼓動 未来をひらく音

2020年10月11日(日) (雨天時12日)

【時間】午前9:00～午後4:00

【会場】猪風来美術館前広場

入場無料 (駐車場あり)

●縄文野焼き大賞

焼き上がった作品から表彰されます!

●縄文 大地の精霊ダンス

縄文土器文様から再現創作したダンス。作品の焼き上がり後に皆で輪になって踊り、大地と炎への感謝を表します。

御来場希望の皆様へのおねがい

コロナ禍のため内容を一部変更し縄文野焼きのみの催しになります。不特定多数の一般観覧はできません。
スタッフとして参加希望の方は事前申し込みが必要です。猪風来美術館までご連絡ください。
会場ではマスク着用、アルコール消毒、検温にご協力をお願いいたします。

■主催 新見市教育委員会・猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 〒719-2552 岡山県新見市法曾609 TEL・FAX 0867-75-2444 <http://www.ifurai.jp>

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館